

町内外へのPRにも努めてまいります。

### ◆ 商工業の振興対策

商工業の振興対策につきましては、町の商工業者のみなさまや、紀宝町商工会との連携のもと設立しております「紀宝町商業活性化委員会」において、町内商店の活性化を目的に、飲食店などを中心とした商店案内情報のパンフレット作成・運用や、鶴殿駅周辺における空き店舗を活用した空き店舗再生事業等を実施しております。小売業や飲食店、サービス業などを対象とした地域に根ざした「起業」の支援、また、地元で採れた新鮮な野菜や魚、惣菜、弁当などが店頭に並び、大変ご好評いただいております「紀の宝みなと市」を継続して開催するなど、今後も多くの賑わいを創出できるように取り組んでまいります。

特産品の振興対策につきましては、みかん、マイヤーレモン、なれ寿しなどを広くPRするとともに、ブランド化や、商品開発等にも取り組みを進めてまいります。雇用の場の確保対策につきましては、平成27年に井内工業団地において電子部品製造会社に操業いただき、地域に大きな雇用を生み出していただきました。

磋琢磨する中で、教職員の資質能力の向上に努めてまいります。

### ◆ 防災関係

防災関係につきましては、平成26年度から取り組んでおります、台風等の風水害に備えた事前防災行動計画（タイムライン）を運用し、昨年同様に台風接近時には、早め早めの避難の呼びかけや事前の台風対応を行うなど、住民の避難誘導や被害の軽減に努めてまいりました。

平成29年度におきましては、熊本県球磨村、高知県大豊町と本町において、情報共有や充実を図ることを目的に「水害タイムライン運用自治体連携協定」を締結いたしました。今後もタイムラインを運用する自治体と情報交換等を実



水害タイムライン運用自治体連携協定



防災訓練



大規模災害時の避難場所、活動拠点となる成川高台整備

現在、残る1区画や、工業団地以外の場所での起業も含め、小規模事業者の経営安定等のために行っております「紀宝町小規模事業者振興利子補給事業費補助金」等による事業者の側面支援なども行いながら、さらに雇用の場を増やしていけるよう、努めてまいります。

### ◆ 観光の振興対策

観光の振興対策につきましては、一般国道42号・新宮紀宝道路の早期完成に向けて取り組みを進めているところでありますが、近畿自動車道紀勢線が延伸され、交通アクセスが向上することにより、大都市圏からの移動時間の短縮などにより、観光客数および滞在時間が増加し、交流人口の拡大が期待されます。

これを町内への誘客を図る絶好の機会と捉え、観光の振興施策として、「紀宝町飛雪の滝キャンプ場」や、「道の駅・紀宝町ウミガメ公園の更なる利便性の向上を図ることにより、町内外から多くのかたが本町にお越しいただけるよう、多様な主体と連携し、町全体の観光振興に繋げてまいります。これらの商工や観光の取り組みを複合的に行うため、平成30年1月から、地域おこし協力隊とし

施しながらタイムライン防災の充実を図ってまいります。

また、これまで、浅里、大里、鮎田地区の3地域において地域版タイムラインを策定してまいりました。引き続き地域に沿った地域版タイムラインの策定に取り組んでまいります。

町民防災会議につきましては、町全体で、「人の命が一番」を基本にした防災・減災対策に取り組み、町民各々が、「自分の命は自分で守る」という防災意識の醸成に努め、大災害からの被災者ゼロを目指しております。本部会議や4つのブロック会議において、地域の防災課題に沿った防災訓練や勉強会等の開催をとおして、防災意識の向上および地域コミュニティの防災力強化を図り、災害に強いまちづくりの構築に努めてま

て、新たに3名の方を委嘱し、紀宝町飛雪の滝キャンプ場を中心として、商工観光業務に携わっていただいております。

地域おこし協力隊の柔軟な意見も取り入れ、キャンプ場の運営や、イベントの企画、情報発信、地域資源の発掘等、新たな視点、新たな感覚、新たな発想をもって、紀宝町の観光の振興に繋げてまいります。

### ◆ 石川県中能登町

姉妹町提携を締結しております石川県中能登町とは、平成30年度におきましても、引き続き交流を推進してまいります。

商工関係におきましては、「紀宝町商工会」および「道の駅・紀宝ウミガメ公園」が主体となつて、中能登町の「商工会」や「道の駅・織姫の里なかの」との物産交流の充実・拡大に向け、引き続き取り組みを進めていきたいと考えております。

また、観光、イベント等の交流および地域間連携につきましても、両町の町祭を中心として引き続き取り組みを進め、本町と中能登町との発展のために相乗効果を発揮できるよう努めてまいります。

スポーツ交流事業としまして、大規模災害時の避難場所および救援・復旧活動の拠点となる成川高台整備につきましては、地権者のみなさまのご理解をいただき、安全な高台にある土地の造成を実施しておりますが、平成29年度に国土交通省による砂利の運搬を終了したことから、本格的に高台周辺地の環境整備が進められることとなります。引き続き、地元のみならず、関係者のみなさまと調整を図りながら進めてまいります。

また、防災行政無線デジタル化につきましては、平成31年3月の完成を目指しております。また、防災行政無線デジタル化と合わせまして、災害時に行政だけでなく、地区や住民が主体的に行動する地域版タイムラインを支援するため、役場と地区間で必要な情報共有を図ります。

よう、雨量計や水位計等の整備を行うとともに、タブレット等を活用した防災情報共有システムの構築も検討しております。円滑な情報共有、情報伝達が図れるよう環境整備を進めてまいります。



石川県中能登町とのスポーツ交流

平成26年度から継続的に、町体育協会、スポーツ少年団関係者、小中学生、保護者等が相互に訪問するなかで、競技力の向上を図りながら、友好と親睦を深めております。

これまでソフトテニスと柔道の種目において、相互訪問を行っており、平成30年度におきましては、紀宝町のスポーツ関係団体が中能登町を訪問する予定となっております。

また、教職員交流事業として、平成26年度から中能登町を訪問し、授業研究等の研修を通じて、教職員の資質能力の向上に努めるとともに、学力向上につながる授業改善等に活かしてまいりました。

平成30年度におきましても取り組みを継続・充実し、お互いに切磋琢磨する中で、教職員の資質能力の向上に努めてまいります。

防災・減災対策につきましては、消防施設等の整備や、防災資機材の充実を図るとともに、災害時に必要とされる非常食や日用品などの備蓄を進めてまいります。

### ◆ 子育て支援

子育て支援施策につきましては、は、まちの将来を担う子どもたちが、健やかに育ち安心して産み育てられる環境整備に努めてまいります。

0歳児保育につきましては、入所申込み状況等を勘案し、これまでの受入れ定員3人から定員5人に増員し、保育サービスの更なる充実を図ってまいります。